

研究会（全体会）

幼小接続部会・学年部会（平成28年7月28日実施）記録

幼小

子どもの主体性を育む幼小の円滑な接続の在り方を探る
～幼児と児童の数的感覚を中心に～

小

主体的に学び続ける子の育成
～実態に合った算数的活動の充実を通して～

1 幼小接続部の取組の共通理解

○人的環境部

- ・計画的な保幼小の交流を進めていく。
- ・教師間交流を継続して進めていく。

○物的環境部

- ・さんさんコーナーを充実させる。遊べるものを置くだけでなく、作り方などを明示して遊びやすい環境を整える。
- ・季節を感じられる掲示板、体験型の掲示板をつくる。

○スタートカリキュラム部

- ・今年度のカリキュラムを検証し、成果と課題を明らかにする。
- ・自分の学年に置き換えて考える。

○アンケート部

- ・第1回アンケートを分析し、各学年の実態をとらえる。

○基礎学力向上部

- ・チャレンジタイムの取組を振り返り、改善に生かす。



2 幼稚園から

○必要感・対話・達成感を授業に取り入れるために

- ・必要感・・・幼稚園のエピソードをヒントに教材づくりを行う。
- ・対話・・・子どもの疑問にすぐ答えるのではなく、みんなに投げかけることで再思考、再試行が生まれる。そして、次の意欲につながる。
- ・達成感・・・自分たちですごろくづくりを楽しんだ経験等は、他の友達と楽しむ姿や自分の考えを積極的に伝える姿につながる。

「必要感・対話・達成感」が感じられるようにするためには、教科・時数・単元の枠を超えた創造的な授業づくりが必要。

3 学年部会

幼稚園の提案を受けて、各学年部で「必要感・対話・達成感」を大切にしたい指導案の作成を行った。